

11/2 人権擁護委員に
法務大臣感謝状を贈呈

任期満了に伴い人権擁護委員を退任する高尾 光男さんと上田 令子さんに、法務大臣からの感謝状を市長から贈呈しました。高尾さんは3期9年、上田さんは3期9年9カ月人権啓発活動や各種相談業務、玉名人権擁護委員協議会の活動に大きな功績を残しました。新たに人権擁護委員に委嘱された末藤 傳修さんと本田 瑞枝さんは今後、「人権フェスティバル」などの人権啓発活動において活躍が期待されます。



11/12 ~26 女性に対する暴力をなくす運動
パープルライトアップ・パネル展

女性に対する暴力をなくす運動期間に、ゆめタウンシティモール協力のもと、この運動のイメージカラーである紫に飾り付けられたツリーのライトアップとパネル展を実施しました。パネル展の暴力をなくすためのメッセージツリーには、来店者からたくさんのメッセージをいただきました。12日にはマジックも駆けつけ、来店者にひとりでも悩みを抱えず相談できる場所があることを伝えました。



11/5 荒尾駅前活性化プロジェクトに
取り組んでいます

「あらお海陽スマートタウン」のまちづくりに合わせた荒尾駅周辺の賑わいづくりとして、駅前の元タバコ屋でDIYリノベーションを進めています。途中経過を披露する「内覧会」と、「リノベーションによるまちづくりの可能性」と題したパネルディスカッションを行い、合わせて100人ほどが来場しました。普段シャッターが閉まっている店舗に明かりが灯り、今後の賑わいづくりに向け期待膨らむ時間となりました。



10/27 一小校区元気づくり委員会と一小
ウクライナ人道支援救援金を贈呈

一小校区元気づくり委員会と一小の6年生が、ウクライナ人道支援金を浅田市長へ手渡しました。これは、9月30日に一小校区元気づくり委員会主催で開催された「第16回 音と光の祭典」で、一小の児童が募金活動を行ったものです。いただいた救援金は、社会福祉協議会を通じて、日本赤十字社に送金し、ウクライナや周辺国の救援活動などに充てられます。



10/31 企業版ふるさと納税寄附金・
感謝状贈呈式を開催しました

熊本市に本社を置き、病院などで使う検査試薬や診断機器などを販売する堤化学(株)が寄附金100万円を贈呈しました。この寄附金は、企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)を活用し寄附されたもので、堤隆一郎代表取締役社長は「縁のある荒尾市へ寄附をしたいと思います。事業推進に役立ててほしい」と話すと、浅田市長は「スマートシティ事業の推進のため大切に使用させていただきます」と、感謝状を贈りました。



11/2 行政相談委員の境さんが
総務大臣表彰を受賞

行政相談委員の境 民子さんが総務大臣表彰を受賞し、市長へ報告しました。この表彰は、長年にわたり地域住民からの行政相談を直接受け付け、行政とのパイプ役となり相談解決に尽力するなど、その業績が特に顕著である行政相談委員に贈られるものです。境さんは、平成21年から現在まで、毎月2回市役所で市民の皆さんの相談を受け付けているほか、その周知に努めるなど熱心に活動しています。



まちの話題

Arao City News

荒尾市の気になる
話題をお届け!

11/2 炭鉱電車への熱い思いを胸に
『炭鉱電車図録VOL.2』を寄贈

11月2日に、NPO法人炭鉱電車保存会が市役所を訪れ、「炭鉱電車図録 VOL.2」を50冊寄贈しました。保存会からは藤原理事長と磯野理事が表敬訪問し、炭鉱電車に対する思いを市長に熱く話しました。寄贈された図録には、現在万田坑内に展示してある炭鉱電車12号機と18号機の写真が多数収録されており、市内全小中学校と市立図書館に配布されます。



11/27 計量教室を開催
「はかり」を知れば日常が快適に

11月の「計量月間」にあわせ、計量制度について知って、買い物などの日常生活に活かしてもらおうと、熊本県産業技術センター主催で「計量教室」が開催されました。多くの人に参加し、参加者の浅野 幸さんは「包装は商品の内容量に含まれないことを初めて知りました。今後は気を付けて買い物をしたい」と話していました。業者向けの計量器検査は2年に1回行われ、次回は来年秋に開催予定です。



11/24 日本精密電子(株)と工場増設に係る立地協定を締結

11月24日、熊本県・荒尾市・日本精密電子(株)の3者で立地協定を締結しました。今回の増設内容は、水野の荒尾産業団地内にある既存工場の拡張と、平山の聖人原地区への工場新設となります。投資金額は、約11億5千万円。新規雇用者は30人程度を予定しており、半導体関連産業の立地協定は今年度2件目となります。



100歳おめでとうございます!
北野 伸生さん(四ツ山町)

11月7日に100歳を迎えました。四ツ山町で90歳まで北野外科医院を60年近く開業していました。趣味であるゴルフは97歳までしていて、海外旅行や国内旅行も多く楽しんでいました。今でも歯が30本以上あり、毎日三食何でも美味しく食べています。長寿の秘訣は、何事にも前向きで悩まないことだそうです。現在は、自宅でのんびり家族と一緒に過ごしています。



10/25 有明小学校5年生の皆さんと稲刈りを行いました!

有明地区で農業をしている「有明地区の資源・環境を守る会」の皆さんと有明小5年生の児童が、6月に田植えをした田んぼで稲刈りを行いました。鎌を使って手作業での稲刈りや、コンバインを使った収穫などさまざまな体験をし、児童からは「とても大変だったけど楽しかった」「自分で刈ったお米を食べてみたい」といった感想が寄せられ、お米を作る大変さを学びました。



地域の活動掲示板 荒尾市ではさまざまな活動が行われています!

自主防災訓練教室



SDGs.11
11/5 「住み続けられるまちづくりを」
万田中央地区協議会

万田中央地区協議会は、地域の防災力向上を目的に自主防災訓練教室を開催しました。万田中央地区の防災士を講師に令和2年7月豪雨の概要説明や、市の防災安全課による防災ゲーム「クロスロード」の実施、非常食の試食会などを行いました。参加者は防災において、地域で団結する重要性などを学びました。

荒尾地区健康づくりレクリエーション大会



SDGs.3
10/29 「すべての人に健康と福祉を」
荒尾地区協議会

荒尾地区協議会は、住民同士の親睦と健康づくりを目的に健康づくりレクリエーション大会を開催しました。当日は約300人の地域住民が集まり、健康づくりのためのさまざまな競技や踊りを実施。お昼休みには各地区ごとに集まって昼食を取り、参加者は世代を超えた交流を楽しみました。

100歳おめでとうございます!
松岡 冬さん(四ツ山町)

11月23日に100歳を迎えました。人に優しく、おらかな性格で、現在も細かいことは気にせず穏やかに過ごしています。甥御さんの話によると、昔は家業であるお寺の門徒参りをしていたそうで、松岡さんがあげるお経は、皆さんが自然と涙を流すほど素晴らしいものだったそうです。長生きの秘訣は食事、今も好き嫌いなく何でも食べています。



100歳おめでとうございます!
木村 タア子さん(上井手下)

11月23日に100歳を迎えました。非常に社交的な性格で、その笑顔から多くの人に慕われています。身の回りのことは自分ででき、常に整理整頓を心掛けています。日中はテレビを観たり、親族へ手紙を書いたり、ゆっくりとした時間を過ごし、食事も三食残さず食べています。健康の秘訣は、よく寝ることだそうです。

